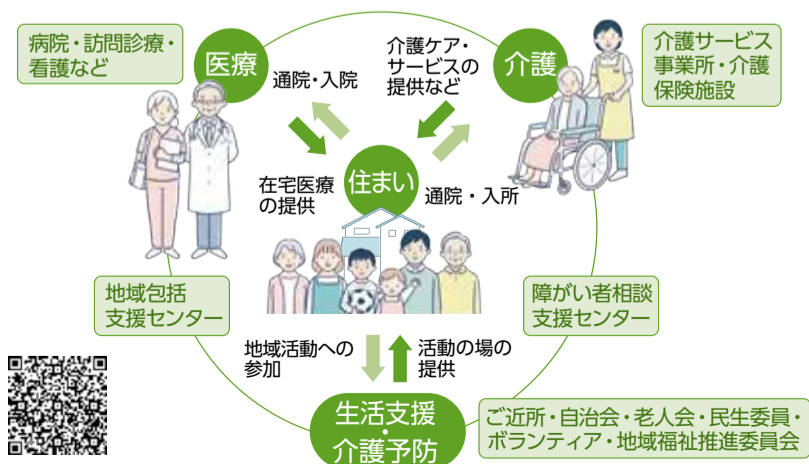


- ② 高齢者外出支援サービスを拡大
- ③ 火災から命を守る対策を
- ④-⑤ **特集** 地域包括ケア社会を目指して
つながりはすぐそばに
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



いつでも 自分らしく

地域包括ケア社会のイメージ



《2・4・5面に関連記事》
④地域包括ケア推進課 ☎25-12224

趣味、スポーツ、仕事、ボランティア、地域活動…。市内には、生きがいを持ち人とながることで笑顔で年を重ねる高齢者がいます。

住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けるのは誰もが願うことです。市ではこの願いを実現するため、住まいを中心に、医療や介護、介護予防、生活支援に、地域のつながりなどを加えた「地域包括ケア社会」を目指しています。

2020年、市の平均寿命は男性が81・7歳、女性が87・4歳になり、20年前と比べると約3年伸びています。寿命が長くなる中、運動や食事での健康を保つことはもちろん、長い人生をどのように過ごし心豊かに生きるかが大切です。人との関わりは、生きがいや張り合いをもたらし、人生の最後まで、自分らしく生き生きと暮らせるよう、高齢者の外出やつながりを生む活動への支援を広げていきます。

Zoom Up

生き生きと暮らせるまちに

高齢者外出支援サービスを拡大

高齢者の移動手段を確保するため、市では神奈中バスの乗車料金が割り引きとなる「かなちゃん手形」の購入費や、タクシーの利用料金を助成しています。12月からは、より外出しやすい環境を整えるため、助成金を増額し対象も拡大。いつまでも健康で暮らせるよう、支援を充実します。

市内の65歳以上の割合は2023年1月に26%となり、10年前と比べて約6%増加しました。昨年、高齢者423人に実施したアンケートでは、10人に1人が「外出の交通手段に手助けが必要」と回答。市では、移動手段確保のため、05年にかなちゃん手形の購入費、17年からタクシーの利用料金の助成を開始。以降、社会情勢に応じて助成金額や対象を見直し、12月からさらにサービスを拡充します。

手形利用者へのアンケート結果などを基に実施しました。約200人が利用するかなちゃん手形6カ月券の購入費助成額を3900円に増額。さらに、85歳以上の方などに交付しているタクシー助成券の対象に70〜84歳の運転免許を持っていない方を加え、1年間に使える枚数も増やしました（左欄参照）。既にタクシー助成券の交付を受けている方には、12〜3月分を郵送します。

市では他にも、65歳以上の方が市内の宿泊・温泉施設などを利用する際に割り引きを受けられる「シルバーチケット」を発行しています（右下欄参照）。さらに、気軽に集い交流できる「通いの場」（4・5面参照）の開設交付金など、高齢者がいつまでも健康で生き生きと暮らせるため、支援を充実していきます。

高齢者が住みよいまちに

助成対象や金額などを拡大

サービス拡充は、22年度のかなちや

サービス拡充は、22年度のかなちや（飯山）は「週に2・3回、本厚木駅前に行くためにバスを利用している。これからも移動にバスは欠かせないの

今年度70歳を迎える青木義晴さん（飯山）は「週に2・3回、本厚木駅前に行くためにバスを利用している。これからも移動にバスは欠かせないの



手形を降車時に提示すると100円で乗車できる

外出支援拡大の内容

かなちゃん手形は12月21日から、タクシー利用助成は12月1日から内容を拡充します。

■かなちゃん手形の購入費助成

6カ月券5900円の購入費

現在 自己負担額3500円

拡大後 自己負担額2000円

■タクシーの利用助成

対象 **現在** 85歳以上または介護認定4・5の方

拡大後 自動車運転免許を有しない70〜84歳を追加

交付 1枚400円のチケット（1年間）


現在 12枚交付

拡大後 48枚交付（今年度は16枚）

助成券の申請手続きから利用までの流れ

■初めに申請

かなちゃん手形・タクシーの助成を受けるためには申請が必要

 **かなちゃん手形助成券**
《対象》 4月1日現在、市内在住で2024年3月31日までに70歳以上になる方



① 地域包括ケア推進課で申請書を書き、その場で助成券を交付
 ※一部必要書類あり



② 神奈中本厚木駅前サービスセンターで助成券を提示し手形を購入



③ バス降車時に手形を提示し、100円（深夜の場合200円）を支払い（回数制限なし）

 **タクシー助成券**



② 精算時に助成券を渡し、差額を支払い

《対象》 4月1日現在、市内在住で①24年3月31日までに85歳以上になる②要介護4・5③24年3月31日までに70〜84歳で自動車運転免許を有しない④のいずれかに該当する方



かなちゃん手形とタクシー助成券の詳細はこちら

11月末までにタクシー助成券の申請・交付をしている方には、12月〜2024年3月分を郵送するため申請不要。

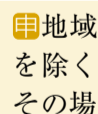
入浴施設などをお得に利用

シルバーチケットを交付

市内の温泉・入浴施設などをお得に利用できるチケットを交付しています。

《対象》 市内在住の65歳以上

《交付期間》 2024年3月29日まで

 地域包括ケア推進課や公民館（厚木北を除く）にある申請書に必要事項を記入。その場でチケットを交付（土・日曜を除く）。

 地域包括ケア推進課 ☎225-2224




詳細はこちら

相談・悩みを受け付け

地域包括支援センター

社会福祉士や保健師などが健康・介護・福祉などの悩みの相談に応じます。市内に10カ所あり、誰でも無料で利用できます。

 地域包括ケア推進課 ☎225-2224

地域包括ケア広報紙を発行

認知症や講座などの情報をまとめた広報紙「地域包括ケアTIMES」を年2回作成しています。



場所などの詳細はこちら



市HPに掲載



住宅地を巡回する消防車両

Q Zoom Up

11月9～15日は秋季火災予防運動

火災から命を守る対策を

気温が下がるこれからの季節は、火気を扱う機会の増加や空気の乾燥で火災が発生しやすくなります。外出時の火元の確認や、自宅の消防機器の点検などで、火災から身を守りましょう。

昨年、全国では3万6千件以上の火災が発生しました。市内でも、57件の火災があり、そのうち66%は気温が下がる11～3月に起きています。火災は暖房器具など火気の使い方や機器の点検などで防げるものもあるため、再度確認が必要です。

火災を防ぐために

建物火災の主な原因は、こんろ・ストーブ使用中の不注意やたばこの不始末、コンセントなどの配線機器の汚れによる出火です。未然に防ぐには、火の使用時はそばを離れない、火元の近くに燃え移りやすい物を置かない、安全装置付きの機器を使用するなどの対策が大切です(左欄参照)。

予防課の水井直人消防副士長は「自分は大丈夫という心の油断や不注意が大きな事故につながる。この機会に、日頃の習慣・行動を見直し、防火意識を高めてほしい」と話します。

もしもの時に備えて

火災による死亡者は、逃げ遅れが多い

火災予防のポイント

■習慣

- ・寝たばこは絶対にしない・させない
- ・ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ・こんろの使用中はそばを離れない
- ・コンセントやその周辺を清掃し、使わないプラグは抜く

■対策

- ・ストーブやこんろなどは安全装置が付いた機器を使用
- ・住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ・部屋は整理整頓し、寝具や衣類、カーテンは燃えにくい物を使用する
- ・消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ・避難経路・方法を確認する
- ・防火防災訓練への参加や戸別訪問による防火指導など地域で対策に取り組む

☎予防課 ☎223-9371

秋季火災予防運動

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」をスローガンに、予防運動を実施します。

●啓発活動

消防本部や消防署、消防団による巡回広報や立ち入り検査などを実施します。

●サイレン吹鳴

11月9日、7時に試験のため、市内全域でサイレンを鳴らします。

☎予防課 ☎223-9371

く、命を守るためには、いち早く火災の発生を知ることが重要です。そのため、2011年には住宅用火災警報器の設置が義務化されました。市でも、火災発生時に機器が正常に作動するよう、定期的な清掃や10年を目安とした交換など呼び掛けています。加えて、消火器の使用方法の確認や燃え広がりやすい防災カーテンなどの使用も火災の備えにつながります。

11月9～15日は、秋季火災予防運動です。大切な命や財産を守るために、改めて一人一人が火災予防を心掛けましょう。



大切な命を守るために

受講者募集

救急救命講習会

いざという時に備えて、心肺蘇生の手順や機器の使い方など救命活動を学びませんか。

☎救急救命課 ☎223-9365

■応急手当普通救命講習会

《日にち》11月17日

《内容》応急手当の重要性、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど

《対象》市内在住在勤在学の中学生以上30人

《費用》無料



■応急手当普及員再講習会

《日にち》12月9日

《内容》応急手当普及員の有効期限の更新や技能の維持・向上

《対象》市内在住在勤在学で有効期限内の応急手当普及員30人

《費用》3960円(テキスト代)

いずれも9～12時。場所は消防本部。☎11月1～9日に救急救命課へ。抽選。📍

新型コロナワクチン 接種のお知らせ

※情報は10月19日時点

順次、個別接種が中心の体制に移行します。希望する方は個別接種を検討してください。

令和5年秋開始接種

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。



詳細はこちら

■個別接種

《期間》2024年3月31日まで 《場所》市内約60医療機関

- 《ワクチン》
- ①12歳以上=ファイザー・モデルナ
 - ②小児(5～11歳)=小児用ファイザー・モデルナ(6～11歳)
 - ③乳幼児(生後6カ月～4歳)=乳幼児用ファイザー

■集団接種

《期間》11月11日まで(週3日) 《場所》保健福祉センター

《ワクチン》モデルナ

☎いずれも接種券に同封するチラシや市HPに掲載。

初回接種

オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

《接種場所》個別接種を実施する市内医療機関

- 《ワクチン》
- ①12歳以上=ファイザー
 - ②小児(5～11歳)=小児ファイザー
 - ③乳幼児(生後6カ月～4歳)=乳幼児用ファイザー

※小児・乳幼児の初回・追加接種を実施する医療機関や日程は市HPで確認してください

☎市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

つながる場で交流を

通いの場

愛TV 11/1~

市内に約300カ所設置され、スポーツ・茶話会・運動などで定期的に交流し、社会参加を通じて介護予防に取り組んでいます。市内で月1回以上活動しています。参加方法は市HPに掲載。



仲間が元気の支え

体を健康に維持するために週に1回、寿荘で仲間たちと運動やストレッチをしています。1人ではなかなか続かなかった体操ですが、友人たちとの会話を通じて、元気をもらえるので継続できています。

健康体操元気クラブ
佐藤 恵子さん (83・及川)

通いの場の
詳細はこちら



通いの場開設交付金

高齢者が参加できる通いの場の新規開設を支援します。
【対象】65歳以上の高齢者が10人程度参加する団体など ※その他条件あり
【活動頻度】月2回以上開催 【交付金額】最大5万円
☎地域包括ケア推進課 ☎225-2224

ボランティア

社会福祉協議会では子育て・障がい者支援など、ボランティア参加者を募集しています。

☎直接または電話で社会福祉協議会 ☎225-2789へ。



定年後の新たな挑戦

小・中学生が対象の車いす体験学習に携わっています。定年後、コロナ禍で家にこもっていましたが、小学生の登下校を見守るボランティアの姿を見て、挑戦を決意しました。優しく受け入れてくれた仲間とやりがいを感じながら活動しています。

あおぞら会
山本 繁さん (71・松枝)

高齢者支援の
詳細はこちら



健康な体を保つ 小さな心掛け

健康を保つには日々の生活や習慣が大切です。自分ができることから始めてみましょう。

●ストレッチや体操



寝転んだり、座ったままできる運動

●近所の散歩



自分に合ったペースでの歩行

●食事



よくかんで食べる



小さなつながりが多く彩りのあるまちに

県地域包括ケアシステム
統括アドバイザー 松川 竜也さん

高齢者の元気な活動は、まち全体の活力にも影響します。家から出なくなると体が衰えるだけでなく、消費も減り地方では商店が存続できない事例もあります。日本は海外に比べ、寿命と健康寿命の開きが大きいと言われています。要介護を必要とする期間が長くなり介護保険のサービスを利用することで取り組まなければならない課題です。

少しでも長く健康でいるために必要なのは、人とのつながりです。誰かと関わりと外に出る機会が増え、会話が生まれ認知症の予防になります。一人暮らしや高齢夫婦世帯も増える中、家族以外ともつながれる仕組みが求められています。趣味や地域活動など、市内各所にたくさんの小さなコミュニティーがあり気軽に参加できる。それが目指すべき姿だと思います。地域とつながり自身を知る人が増えると自分らしい暮らしがしやすくなります。そんなまちはきっと、世代を問わず誰にとっても暮らしやすい、魅力的なまちになるのではないでしょうか。



ポスターや友人の誘いで集まった参加者たち



月1回地域のイベントなどを知らせる紙面も手作りで作成

地域のためにできること

ラジオ体操はマンションで暮らす人たちの交流のため、2021年に市内約300カ所にある通いの場の一つとして始まりました。42歳の時、このマンションに家族で越して来た山田さん

「おはよう。今日もいい天気だね」「久しぶり、元気にしてたい」。柔らかな朝日が差し込む公園から、明るい音楽と話し声が聞こえてきます。船子にあるマンション近くの小さな公園。そこで月2回、住民が集まってラジオ体操をし、穏やかな時間を過ごしています。「今日も来てくれてありがとうございます。皆さんの顔が見られてうれしい」。発起人の山田善治さん(75・船子)は集まった住民たちの姿に笑顔を見せます。

「おはよう。今日もいい天気だね」「久しぶり、元気にしてたい」。柔らかな朝日が差し込む公園から、明るい音楽と話し声が聞こえてきます。船子にあるマンション近くの小さな公園。そこで月2回、住民が集まってラジオ体操をし、穏やかな時間を過ごしています。「今日も来てくれてありがとうございます。皆さんの顔が見られてうれしい」。発起人の山田善治さん(75・船子)は集まった住民たちの姿に笑顔を見せます。

輪を広げるために

住民たちのやりたいことを知るために、まずは家族以外の誰かと話せる場を作ることが大切だと思つた山田さん。「一度しかない人生だから、家にこもっているのではなく、外に出て楽しんでほしい」と月数回、気軽に体を動かせるラジオ体操を開くことを思いつきます。そんな時、市が始めた通いの場の交付金を知り、「失敗したらどうしようという不安はなかった。とりあえずチャレンジして、参加してくれる人が少なければ改善すればいい。何かやらなければ始まらない」と動き出します。マンションの掲示板に自作のポスターを貼って参加者を募り、初回には約20人の住民が集まりました。「体操がきっかけで人とのつながりが増えてうれしい」と山田さんは笑顔を見せます。

活動を通じて目指すのは、参加者同士がつながり支え合うことです。「体操で出会った人、月1回発行している新聞にある私の電話番号。何でもいい。誰か話せる関係性をここで築いてほしい。つながっていれば、何かあったときに助け合える」と山田さんは力を込めます。

出会はつながりに

活動を始めて約2年。交流の輪は会を通じて知り合った住民同士に広がっています。初回からラジオ体操に参加している清原美子さん(71・船子)もその一人。清原さんは会が始まる以前、近所の住民との交流がほとんどありませんでした。変化があったのは、50代で病気を患い家に引きこもりがちになった時。「それまでは働いていたこともあり、近所の住民との交流を煩わしく感じていた。病気になる人、地域とのつながりの必要性を肌で感じた」と話します。誰かと関わる場を探していた清原さんの目に入ったのがラ

出会はつながりに

活動を通じて知り合った住民同士に広がっています。初回からラジオ体操に参加している清原美子さん(71・船子)もその一人。清原さんは会が始まる以前、近所の住民との交流がほとんどありませんでした。変化があったのは、50代で病気を患い家に引きこもりがちになった時。「それまでは働いていたこともあり、近所の住民との交流を煩わしく感じていた。病気になる人、地域とのつながりの必要性を肌で感じた」と話します。誰かと関わる場を探していた清原さんの目に入ったのがラ



参加者に笑顔を向ける山田さん

できることを広げる範囲で

「会への参加者が少しずつ減っている」と最近の悩みを打ち明ける山田さん。しかしその目は曇っていません。「どうすればみんなが外に出て笑顔になってくれるか、周りの意見を聞きながら考えていく。自分がやりがいを感じるこの活動を、楽しく続けたい」。そう話す山田さんはいつもの公園に向かいます。「山田さん、おはよう。今日も体操日和だね」「この間は誘ってくれてありがとう。話ができてすっきりしたよ」。市内の小さな公園から今日も緩やかなつながりの輪が広がっています。



年齢に関係なく住民が集まる

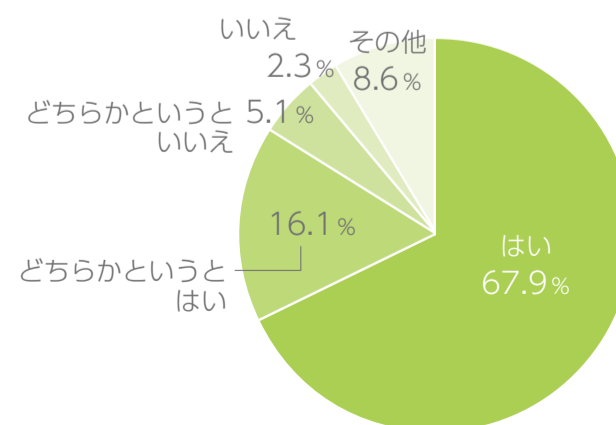
特集：地域包括ケア社会を目指して

つながりはすぐそばに

住み慣れた地域で人生の最期まで元気に暮らしたい。その思いを分かち合うことで心身を健康に保ち、人生を豊かにする人たちがいます。市内にはスポーツ、茶話会などで地域の人が交流できる「通いの場」があります。特集では船子にある「通いの場」で出会い、つながりながら、自分らしく生活する人たちの姿を追いました。

☎地域包括ケア推進課 ☎225-2224

Q.今住む地域に今後も住み続けたいですか



出典：市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画改定のためのアンケート調査結果報告書



お互いの近況を話す清原さん(左)と友人の田中さん(右)

市内還暦野球チームが快挙 全日本選抜還暦軟式野球大会に初出場



団旗を手に持つ選手ら（左が上田主将）

市内で活動する還暦野球チーム「アツギJJクラブ」が、全国大会出場を市長に報告しました。チームは昨年の県還暦軟式野球大会一部リーグで4位となり、全国大会の出場が決定しました。上田三也主将（64・下荻野）は「『楽しく野球をやりましょう』を合言葉に活動している。大会では、日々の努力を発揮できるようにしたい」と意気込みました。山口市長は「純情・純粋の気持ちを忘れず、試合に挑んでほしい」とエールを送りました。

チームは、5年前に設立。市内唯一の還暦野球チームとして、59歳以上の26人で週に1回程度活動しています。大会は、10月21日から山口県で開かれ、全国各地から集まった48チームが熱戦を繰り広げました。

コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくり 全国初の公道走行実験をスタート

10月に、森の里地区で次世代の移動手段として期待される乗り物「モビリティスクーター」の公道走行実験を始めました。走行実験は、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし、働き続けられるまちづくりを目指した取り組みの一環です。

スクーターは、一人乗りで長さ137センチ、幅66センチ、最高時速15キロ程度で進み、動力源は電気です。海外では、高齢者などの移動手段の一つとして普及が進んでいます。実験初日の試乗会で操作した小松栄次さん（77・森の里）は「スピードが速いと少し不安定に感じたけれど慣れると思う。森の里地区は高齢化率が高く坂道も多いので、ちょっとした外出には便利」と話しました。



スクーターに試乗する住民



自然の中で芸術に親しむ

ぼうさいの丘公園で「あつぎ青空アート展」を開催

親子で楽しんでいた入内嶋朋子さん（38・妻田）は「毎年楽しみにしているイベントの一つ。子どもが制作した作品を展示しているので家族で見に来た。気軽に参加できるワークショップもあってうれしい」と笑顔で話しました。



カラフルなアート作品が並ぶ

園内には石彫をはじめ、布・木などの素材や公園の自然を生かした作品が展示された他、アート作りにも挑戦できるワークショップも開催。さらには、今年も来場者がより楽しめるよう、キッチンカーも初めて出店しました。

作品鑑賞やものづくり体験が楽しめる野外展示会「あつぎ青空アート展」が10月、ぼうさいの丘公園で開かれました。会場には、プロの造形作家や保育園児などが作った作品41点が展示され、来場者の目を惹きました。

ガの生態を博物館で見て学ぶ

特別展「知らなかったガの魅力」を開催中

ガの魅力や不思議を発見できる特別展を、12月3日まであつぎ郷土博物館で開催しています。市内に生息するガや友好都市の網走・横手・糸満市に分布する種を含め、約300種の標本を展示。幻といわれる「カバシタムクゲエダシヤク」の標本も見られます。



展示されている標本

ガは市内に約1400種が生息し、動植物の約20%を占めています。日中に飛ぶもの、河川敷や高い山など限られた環境で生息するものなど多様な種が確認されています。

特別展では、学びが深められるよう、学習者が展示の解説をする「ちよつといひ小話会」や野外観察で使える図録を販売。新たな発見やガの魅力を感じられ、子どもから大人まで楽しめる展示となっています。

第8回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 地産地消を楽しもう！



毎週日曜に文化会館で開かれる厚木市民朝市

地産地消とは、地元で生産された野菜などを地域内で消費することです。鮮度の高い農産物が手に入り、地元農業の応援につながる他、農産物の運搬が最小限で済むため、海外からの輸入などに比べて排出されるCO₂が少なくなります。

厚木市民朝市や農産物直売所で地元の新鮮な農畜産物を購入し、地産地消を楽しみませんか。

CNプラットフォームでは、地産地消をより詳しく知れるページを公開しています。



厚木市長 山口貴裕



今年100歳を迎える方の自宅を訪ね

9月の敬老の日に合わせて、市内に住む95歳以上の方、26人の元を訪ねました。玄関をくぐると皆さん笑顔で迎え入れてくださり、私の緊張も一気にほぐれました。長年、市のために尽力いただいた感謝の気持ちを伝えるに行きました。が、「元気で頑張つて」と励まされ、逆に私が力を頂きました。長寿の秘訣を尋ねると「よく笑い、よく話をし、よく食べる」と教えていただき、それ以来、私も改めて幅広い

ります。市では、友人との交流や生きがいを感じられる生活を送ってもらえるよう、12月にはかなちゃん手形の購入費助成などを増額します。誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、「地域包括ケア社会」の実現が不可欠です。厚木に誇りを持っていただき、慣れ親しんだ地域に愛着を感じ、心豊かに暮らせるまちづくりには、多くの皆様と協力して取り組んでまいります。

世代の方と話す時間を大事にするよう意識しています。日本の高齢化は年々進んでいて、厚木も同様の状況です。9月末現在、市内には100歳以上の方が88人いらっしゃいます。高齢者の活発で明るい姿は、子どもや若者たちにも刺激を与え、まちの活気につなが

タウンガイド

| 11月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

| 12月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📺=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV/11/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「秋の風景」
 #10月16日撮影
 #厚木中央公園
 #紅葉
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



火災や災害に備えて地域を守る

消防団員を募集

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いの下、地域住民で組織しています。皆さんの力を生かしてみませんか。

■消防団の主な活動

《一般団員》消火・救助・水防活動、放水訓練、警戒パトロールなど
 《女性団員》火災予防などの広報活動、応急手当ての普及・啓発など
 ※関心のある方は消防総務課にお問い合わせください。

☎消防総務課 ☎223-9366



消防の働く車が大集合 あつぎ消防団ふれあい広場

地域を守る消防団員と一緒に思い出を作りませんか。

《日時》11月12日 10~15時

《場所》市役所駐車場

☎不要。

市立各中学校から配布されるチラシを確認し、11月22日までに担任の先生へ申請書を提出。市立中学校以外の方は教育総務課 ☎225-2600へ。選考あり。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、10月16日付けで杉山繁雄氏(69)を任命しました。☎教育総務課 ☎225-2600。

生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書の受け付け

《閲覧期間》11月6~20日 《縦覧場所》都市計画課 《意見書提出》直接または郵送で、11月20日(必着)までに〒243-8511都市計画課 ☎225-2401へ。

オレンジリボンとパープルリボンを知っていますか

オレンジリボンは児童虐待防止、パープルリボンは女性への暴力根絶の象徴です。11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」、11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。児童虐待や女性への暴力の問題に関心を持ちましょう。☎家庭相談課 ☎225-2244。

給与支払報告書などの配布

11月15日から給与支払報告書の総括表や個人別明細書などを配布します。

《配布場所》市民税課 《対象》事業所や事業主の方。☎市民税課 ☎225-2011。

Atsugi Free Wi-Fiのサービス提供エリアを追加

Eメールアドレスを登録すると、60分間無料で使えます(1日の接続回数は無制限)。

11月11日~ = 厚木公園、厚木中央公園(一部エリアは、2024年3月頃サービス開始)、本厚木駅前東口地下道。

12月1日~ = 東町スポーツセンター、ふれあいプラザ。☎情報政策課 ☎225-2447。

全国瞬時警報システム(Jアラート) 全国一斉情報伝達試験

Jアラートの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

日時 11月15日 11時~

※気象状況などにより中止の場合あり。

☎危機管理課 ☎225-2190

明るく楽しい地下道のフェスティバル「CHiKaフェス」

11月11・12日、10~17時。本厚木駅前東口地下道。ハンドメイドマーケット=販売会と子ども向けワークショップ、保育士による子育てアドバイスコーナー。障がい者手づくり製品即売会=福祉事業所に通う方が作ったバッグやあゆコロちゃんグッズなどの製品を販売。多肉植物寄せ植えワークショップ=福祉事業所に通う方が世話した多肉植物や作った鉢の販売、寄せ植えワークショップ。けん玉教室=日本けん玉協会が講師の、初心者から上級者まで楽しめる教室。級位認定あり。ラジコン広場=ジオラマコースでミニ四駆やラジコンの見学・操作体験会など。スタチューストリート=銅像や人形と見間違えるようなパフォーマンス。チョークアート=チョークアーティストが目の錯覚を利用した絵画などを路面に描く。紙アプリ=デジタルコンテンツを使い、描いた絵を夜空に模したスクリーンに映す。MITENE=人の顔や動きを認識してモニター

内で着せ替え、映像を映す。ゲームdeフェアトレード=絵本や塗り絵などでフェアトレードを学ぶ。

☎企画政策課 ☎225-2450。



市全国県人会連合会ふるさと芸能発表会

11月5日、11時~15時30分。厚木商工会議所。郷土芸能や民謡などの公演。無料。☎不要。☎市民協働推進課 ☎225-2101。

久保奨学金の奨学生を募集

高校などへの入学費用を支援する入学準備奨学金と、修学費用を支援する高校等修学奨学金の希望者を募集します。

《対象》①修学の意欲がある②経済的な理由により修学が困難③学業成績が優秀④の全てを満たす市内在住で2024年4月に高校などへ入学予定の中学3年生20人。☎

第18回 議会報告会

市民と議会の意見交換会

市議会議員と意見や情報を交換しませんか。気軽に参加してください。

☎議会総務課 ☎225-2701

《日時》11月13日 19時~

《内容》「教えて!選挙に行かない理由」がテーマの意見交換会

《方式》オンライン (Zoom)

《定員》100人

☎不要。当日18時50分以降に、二次元コードを読み取るか、ミーティングID (960 8167 2502)を入力、または市HPから参加。



Zoomはこちら



市HPはこちら

郷土芸能まつり

地域に伝わる郷土芸能の祭典を開催します。

☎文化財保護課 ☎225-2509



■郷土芸能発表会

日時 11月19日 13時30分~16時30分

出演 長谷ささら踊り盆唄・愛甲ささら踊り盆唄・相模国飯山白龍太鼓・厚木市古式消防保存会、法雲寺酒井双盤講、相模里神楽垣澤社中

■相模人形芝居特別公演

日時 12月3日 13時30分~16時30分

出演 相模人形芝居林座・長谷座、あつぎひがし座

いずれも会場は陸合西公民館。定員70人。☎不要。先着順。



詳細はこちら

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

10月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆園児が走る姿がかわいい。スポーツの秋を楽しみたいと思う/50代女性 ◆市内の施設を知り、スポーツを始めたいと思った/40代男性 ◆スポーツで地域貢献していて、すてきだと感じた/40代男性 ◆選手の考え方や歩みを知り、親近感が湧いた/30代男性 ◆食品ロスを減らすには、一人一人の意識や実践が大切だと分かった/70代男性 ◆環境問題や動物愛護を学べるいい機会だと思う/20代女性

編集後記

今回の取材で、誰かと関わり生きがいを得ている通いの場やボランティアの皆さんの姿を見ました。働いて、外に出ていると毎日たくさんの人と出会います。人と関わることは常にうれしいことばかりではなく、時には悲しさや煩わしさを感じることもあります。それでも今、当たり前にある誰かとのつながりは、実はかけがいのないものなのかもしれないと改めて感じました/野口

にぎわい爆発 あつぎ 国際大道芸

11月11・12日
11~18時
本厚木駅周辺

世界で活躍するアーティストの
パフォーマンスを間近で楽しめる
イベントです。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840



詳細はこちら



- 《同時開催イベント》
- ① あつぎ愛・物産フェア
あつぎ技能祭
厚木商工会議所女性会工作教室
 - ② あつぎ消防団ふれあい広場(12日)
 - ③ スーパーキッズランド(大道芸体験)
 - ④ あつぎグルメフェア
 - ⑤ CHiKaフェス2023
 - ⑥ 南口ホコ天まつり(11日)



あつぎイルミネーション2023

本厚木駅北・南口前の広場にイルミネーション
を設置し、冬の街を明るく照らします。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

期間 1月14日まで 16時30分~22時
※初日の10月28日は18時~

今年のテーマは「希望へのアーチ」

あつぎウィンターフェスティバル

中心市街地4商店会によるイ
ルミネーションが厚木中央公園
に設置されています。

期間 1月5日まで
18~22時



詳細はこちら

30周年 自然歳時記

●モズの「はやにえ」●
モズ科

体長20mmほどの小形の猛禽類。かぎ形の鋭
いくちばしでカマキリやトカゲ、カエル、小鳥
などを捕え小枝に刺す「はやにえ」を作る。
農耕地や川原、林縁などに生息する/相模川
の戸田付近で見つけた。 写真・文/吉田文雄



モズは「百舌」と書くとおり鳴き
まねが上手で、その声に誘われて
襲われる小鳥たちもいる。秋から
冬になると単独で縄張り宣言をす
るため、秋空に「キーキー
キー、キチキチキチ」と、甲高い
高鳴きが聞かれる。
川沿いを歩いていると、尾羽をク

ルックルッと回し、辺りを見渡すモ
ズを見つけた。不意に草むらの中
に落ちるように飛ぶと、何かを捕ま
えて小枝に止まった。羽に白い紋が目
立つ雄のモズだった。胸の辺りに映
る影はコカマキリで、それを枝先に
刺すと何食わぬ顔で飛び去った。
「はやにえ」の完成を初めて見た。

厚木市の人口 (10月1日現在) 世帯数 10万4921世帯 (前月比73世帯増) 人口 22万4058人 (前月比40人減) 男11万5427人・女10万8631人